

位置づけ・計画期間等

- [位置づけ] ・健康増進法に規定する都道府県健康増進計画
・健康づくり推進条例に規定する「健康づくり推進プラン（第2次）」に即して定める「実施計画」
- [計画期間] 2018年度～2022年度（5カ年）
[厚生労働省「健康日本21（第2次）」2013～2022年度（10カ年）]

各種データに加え、健康づくり実態調査結果、現計画の目標の進捗等をもとに「健康づくり推進プラン（第2次）」の目標を達成するため、基本方針に基づき、目標や主な取組について記載する。

【参考】健康づくり推進プラン（第2次）

- [位置づけ] 健康づくり推進条例に規定する「基本計画」
- [計画期間] 2017年度～2021年度（5カ年）
- [目 標] 県民一人ひとりが生涯にわたって健康で生き生きとした生活ができる社会の実現
- [基本方針] ○ライフステージに対応した取組の強化
○社会全体として健康づくりを支える体制の構築
○健康寿命の延伸に向けた個人の主体的な取組の推進
○多様な地域特性に応じた支援の充実

健康づくり推進実施計画（第1次）の目標項目の評価（具体的内容は3枚目に掲載）

目標を達成したもの	43	健康寿命の延伸(男性)、かかりつけ医を持つ人の割合、肺がん検診受診率、12歳児の一人平均むし歯数、自殺者数 ほか
目標には達していないが計画策定時から改善しているもの	54	健康寿命の延伸(女性)、特定健診受診率、がん検診受診率(肺以外)、野菜の1日あたり摂取量、8020運動目標達成者(80歳20歳以上) ほか

計画策定時から横ばいのもの	34	特定保健指導実施率、メタボ該当者・予備群の割合、習慣的に喫煙している人の割合、スポーツをする子どもの割合 ほか
計画策定時より悪化したもの	29	日常生活における歩数、ストレスを感じる人の割合、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒する人の割合、未成年者の喫煙率(高3) ほか

目標項目は、160項目中、「達成」(43項目)と「改善」(54項目)が約6割を占め、概ね改善傾向にある。

基本目標

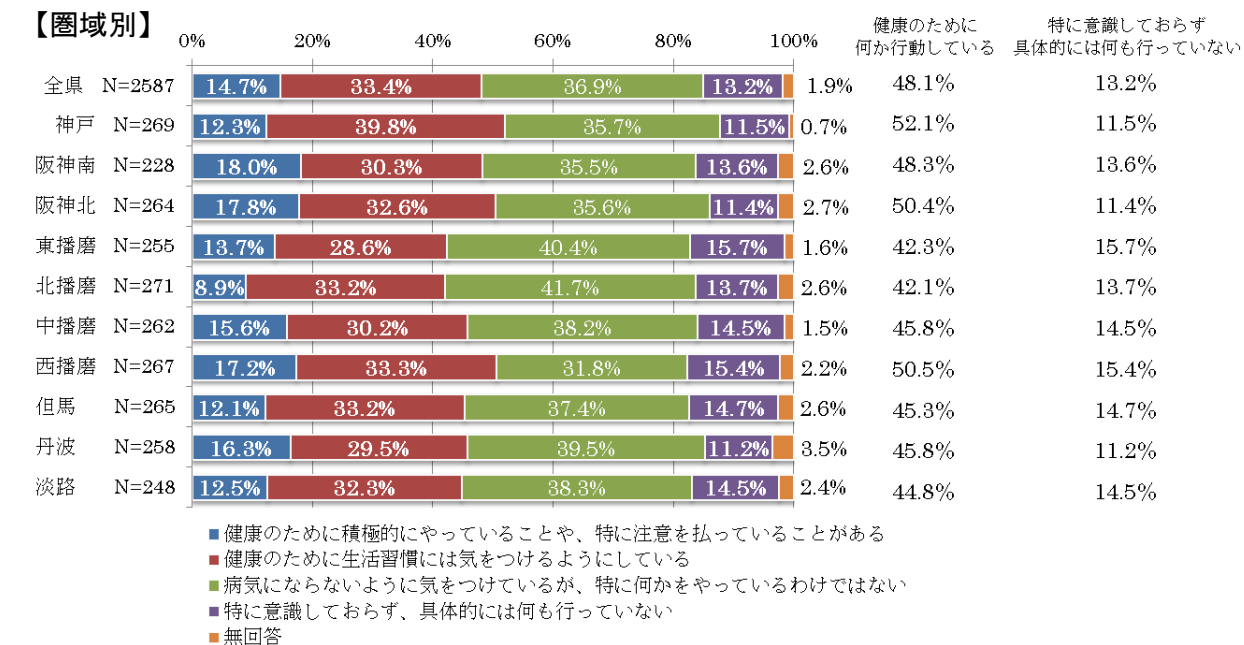
健康づくり推進プラン（第2次）の目標の達成状況を計る具体的な指標を基本目標として設定

○ 個人の主体的な取組に関する指標	健康づくり活動の実践及び健康への意識の向上
-------------------	-----------------------

【県民の健康づくり活動実践及び健康への意識】(H28年度兵庫県健康づくり実態調査)

「普段から健康に気を付けるよう意識していますか」との設問への回答

健康のために積極的にやっていることや、特に注意をはらっていることがある	…	14.7%
健康のために生活習慣には気を付けるようにしている	…	33.4%
病気にならないよう気を付けているが、特に何かをやっているわけではない	…	36.9%
特に意識をしておらず、具体的には何も行っていない	…	13.2%
無回答	…	1.9%



○ 健康寿命に関する指標	健康寿命の1年延伸・圏域間の健康寿命の差の縮小
--------------	-------------------------

【本県の健康寿命の状況】

【表1】全県

兵庫県	平均寿命①		健康寿命②		差(①-②)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H27@	81.06	87.15	79.62	83.96	1.44	3.19
H22⑤	79.89	86.39	78.47	83.19	1.42	3.20
伸び(@-⑤)	1.17	0.76	1.15	0.77		

健康寿命は平均寿命の延びに伴い延伸しているが、男性は目標（1年延伸）を達成1.15年延伸したが、女性は目標には達していない(0.77年延伸)。また、健康寿命と平均寿命との差はH22年とほぼ変わらない。

[表1のとおり]

【表2】圏域別

圏域	男性		女性	
	全県との差	全県との差	全県との差	全県との差
神戸	79.62	0.00	83.93	△ 0.03
中播磨	78.84	△ 0.78	83.55	△ 0.41
阪神南	79.63	0.01	83.93	△ 0.03
阪神北	81.03	1.41	84.60	0.64
東播磨	79.43	△ 0.19	83.74	△ 0.22
北播磨	79.85	0.23	84.13	0.17

圏域間の健康寿命の差は男性で最大2.24年(阪神北 81.03 淡路 78.79)、女性で最大1.11年(阪神北 84.60 西播磨 83.49) [表2のとおり]

分野別取組 (主なもの)

基本目標の達成に向け、次の分野ごとに、健康づくり施策を展開

[分野1] 生活習慣病予防等の健康づくり

[現状と課題]

- ・ 主な生活習慣病 (がん、脳血管疾患、虚血性心疾患) 年齢調整死亡率は減少しているが、死因の5割以上を占める
- ・ 特定健診受診率、特定保健指導実施率は向上しているが、第1次計画の目標は未達成
- ・ 糖尿病性腎症による人工透析導入患者数が増加
- ・ 食塩や野菜摂取量、1日の歩数の現状などからさらなる食生活の改善や運動習慣の定着が必要
- ・ 喫煙率は減少傾向にあるが第1次計画の目標は未達成、また未成年者の喫煙はなくなっていない

[主な取組]

- ・ がん対策基本計画に基づくがん対策の推進によるがんによる死亡の減少
- ・ 啓発、人材育成等を通じた特定健診、特定保健指導、がん検診受診等の向上
- (新) 糖尿病の重症化を予防するため、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの取組を支援
- ・ 「食育推進計画 (第3次)」による食生活の改善や、健康体操の普及等を通じた運動習慣の定着を促進
- ・ 禁煙の必要性の啓発、禁煙治療等の情報提供による禁煙支援や、学校を通じたたばこの害等の啓発

[主な目標項目] ※下線は新たな目標項目

目標項目	現状値	1次計画 達成状況	目標
(1) 主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上			
・ 75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	㉗ 77.3	○	全国平均より5%低い水準
・ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	㉗ 30.7	減少
	女性	11.7	
・ 脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	㉗ 36.9	減少
	女性	19.1	
・ 特定健診受診率の向上	㉗ 48.8%	○	70%
・ 特定保健指導実施率の向上	㉗ 16.8%	△	45%
・ がん検診受診率の向上	㉘ 胃がん:35.9% 肺がん:40.7% 大腸がん:39.8% 乳がん:40.6% 子宮頸がん:38.1%	肺以外:○ 肺:◎	50%
・ <u>糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施保険者数(市町国保)</u>	㉘ 13市町	—	41市町
(2) 食生活の改善			
・ 1日あたりの食塩摂取量の減少(20歳以上)	㉘ 9.6g	○	8g
・ <u>主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合の増加</u>	㉘ 42.2%	—	70%以上
(3) 運動習慣の定着			
・ 日常生活における歩数の増加(20歳以上)	男性	㉘ 7,782歩	×
	女性	6,813歩	
・ <u>日常生活のなかで体を動かすこと(歩く、そうじをする、子どもと遊ぶ等)を習慣化している人の割合</u>	㉘ 37.1%	—	増加
(4) たばこ対策の推進			
・ 習慣的に喫煙している人の割合の減少(20歳以上)	㉘ 14.2%	△	10%
・ <u>受動喫煙の機会を有する者の割合の減少</u>	職 場	24.8%	—
	飲 食 店	42.0%	—
	行政機関	㉘ 4.5%	—
	医療機関	4.6%	—
	家 庭	16.0%	—
(5) 次世代への健康づくり支援			
・ <u>子育て世代包括支援センター(母子保健型)を設置する市町数の増加</u>	㉙ 29市町	—	41市町
・ 未成年者の喫煙をなくす	㉘ 高3男子:2.0% 高3女子:3.1%	×	0%

[分野2] 歯及び口腔の健康づくり

[現状と課題]

- ・ 定期的に歯科健診を受診する人の割合は増加しているが、第1次計画の目標は未達成
- ・ 8020運動達成者は増加しているが、第1次計画の目標は未達成
- ・ 高校卒業後、定期的な歯科健診を受診する機会がなく青・壮年期の歯・口腔保健対策が不十分
- ・ 妊婦歯科健診等に取り組む市町数は増加したが、受診率は3割弱にとどまる
- ・ オーラルフレイルの予防による全身虚弱の予防の取組が必要

[主な取組]

- (新) 口腔保健支援センターを中心に各世代の課題に向けた施策展開
- (新) 事業所歯科健診への助成を通じた働き盛り世代対策の充実
- ・ 8020運動推進員による普及啓発活動の全県展開を通じた8020運動目標の達成に向けた取組の推進
- (新) 青年期からの健口力向上モデル事業の実施による青年期の歯・口腔の健康づくりの推進
- ・ 市町における妊婦歯科健診の取組を進めるためのマニュアル等の活用による市町支援
- (新) 指導者養成等によるオーラルフレイルの予防を推進

[主な目標項目] ※下線は新たな目標項目

目標項目	現状値	1次計画 達成状況	目標
(1) 総合的な推進			
・ 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)	㉘ 55.7%	○	65%以上
(2) 次世代への支援			
・ 3歳児のむし歯のない人の割合の増加	㉗ 85.0%	△	87%以上
・ 妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加	㉘ 38市町	○	41市町
(3) 成人期の取組			
・ 8020運動目標達成者割合の増加	40代(28歳以上)	㉘ 64.4%	△
	50代(25歳以上)	㉘ 80.1%	○
(4) 高齢期の取組			
・ 8020運動目標達成者割合の増加	70代(22歳以上)	㉘ 48.0%	×
	80代(20歳以上)	㉘ 40.2%	○
・ <u>口腔機能の維持・向上(60歳代以上)における咀嚼良好者割合の増加</u>	㉘ 75.4%	—	80%以上
(5) 配慮を要する者への支援			
・ 介護老人福祉施設等での定期的な歯科健診実施率の増加	㉙ 32.2%	○	50%以上

[分野3] こころの健康づくり

[現状と課題]

- ・自殺者数は着実に減少しているが、10代～30代までの死因の1位であるなど依然として大きな課題
- ・成人のストレスを感じる割合や睡眠に問題を抱える割合は増加
- ・高齢化の進展により認知症高齢者はさらに増加見込み

[主な取組]

- (新) 自殺者数のさらなる減少を目指し、自殺対策計画に基づく取組を推進
- (新) 健康づくりチャレンジ企業へのメンタルヘルス事業等による働き盛り世代のこころの健康づくりの推進
- (新) 認知症予防・早期発見など認知症施策を推進

[主な目標項目] ※下線は新たな目標項目

目標項目	現状値	1次計画達成状況	目標
(1) ライフステージに対応した取組			
・年間自殺者数の減少	28 942人	○	800人以下
・産後うつを <u>チェックする市町数及びフォロー体制がある市町数</u>	28 37市町	—	41市町
・ <u>ストレスがたかさんあつたと感じる人の割合の減少(中1、中3、高3)</u>	28 15.0%	○	13%以下
・ <u>ストレスを大いに感じる人の割合の減少(20歳以上)</u>	27 26.8%	×	18%以下
・ <u>労働安全衛生法に基づくストレスチェック実施率の向上(常時50人以上の労働者を使用する事業場)</u>	29 83.3%	—	増加
・ <u>メンタルヘルス対策に取り組むチャレンジ企業数の増加(カウンセラー派遣事業実施企業数)</u>	28 83社	—	140社/年
(2) 認知症の予防・早期発見の推進			
・ <u>認知症相談医療機関の登録数の拡大</u>	28 2,100箇所	—	2,200箇所

[分野4] 健康危機事案への対応

[現状と課題]

- ・平常時の関係団体間等の連携や県民意識の向上、災害発生時の対応(災害時要援護者への支援等)の充実

[主な取組]

- ・市町における災害時保健指導マニュアル策定の支援、研修や訓練を通じた人材育成

[主な目標項目]

目標項目	現状値	1次計画達成状況	目標
(1) 災害時における健康確保対策			
・災害時保健指導マニュアル策定市町数の増加	28 策定済:14市町、策定中:9市町	○	41市町
・災害に備え、非常食等を備蓄している世帯の割合の増加	27 61.7%	◎	75%以上
(2) 食中毒の発生予防・拡大防止			
・家庭における自然毒による食中毒の年間事件数を0件にする	28 4件	—	0件
(3) 感染症の発生予防・拡大防止			
・腸管出血性大腸菌感染症(0157)の集団発生をなくす	28 1件	○	0件

[目標設定の基本的な考え方]

- ・国、県の他の計画で目標が設定されているものは、その数値を目標に設定
- ・1次計画で目標が未達成のものは、引き続き同じ数値を目標に設定
- ・市町数が目標になっているものは、全市町実施を基本として設定

参 考

【健康づくり推進実施計画(第1次)の目標項目の評価】

主な目標項目・指標		計画策定時	目標	現状値	達成状況	
健康寿命の延伸(日常生活動作自立期間の平均)	男性	22 78.47年	1年延伸	27 79.62	◎	
	女性	22 83.19年		27 83.96	○	
75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)		22 86.5	67.9	27 77.3	○	
虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	22 36.8	減少	27 30.7	◎	
	女性	22 15.3	減少	27 11.7	◎	
脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	22 44.7	減少	27 36.9	◎	
	女性	22 23.2	減少	27 19.1	◎	
かかりつけ医をもつ人の割合の増加		24 65.1%	70%	28 71.2%	◎	
特定健診受診率の向上(40～74歳)		23 44.2%	70%	27 48.8%	○	
特定保健指導の実施率の向上(40～74歳)		23 16.4%	45%	27 16.8%	△	
メタボリックシンドロームの予備群・該当者の割合の減少(市町国保の県平均)(40～74歳)	予備群	23 10.3%	9%	26 9.9%	△	
	該当者	23 15.8%	12%	26 15.8%	△	
がん検診受診率の増加(40歳以上、子宮がんのみ20歳以上) 【職域を含むがん検診】	胃がん	22 28.6%	40.0%	28 35.9%	○	
	肺がん	22 20.4%	40.0%	28 40.7%	◎	
	大腸がん	22 23.4%	40.0%	28 39.8%	○	
	乳がん	22 32.2%	50.0%	28 40.6%	○	
	子宮がん	22 32.6%	50.0%	28 38.1%	○	
食塩摂取量の減少(15歳以上)		20 10.0g	8.0g	28 9.7g	○	
野菜の1日当たり平均摂取量の増加(15歳以上)		20 243.3g	350g以上	28 284.4g	○	
朝食を食べる人の割合の増加(20歳代)	男性	20 64.7%	71%以上	27 51.4%	×	
	女性	20 70.0%	77%以上	27 69.2%	△	
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少		男性 23 12.4% 女性 23 6.0%	10% 5%	28 14.5% 28 10.3%	×	
日常生活における歩数の増加(20歳以上)	男性	22 7,964歩	9,000歩以上	28 7,782歩	×	
	女性	22 7,063歩	8,100歩以上	28 6,813歩	×	
スポーツをする子どもの増加(学校体育授業を除く、1日1時間以上)	小学生	23 51.7%	90% (H33目標)	28 50.3%	△	
	中学生	23 80.6%		28 78.4%	×	
	高校生	23 54.5%		28 54.9%	△	
習慣的に喫煙している人の割合の減少	全 体	23 14.4%	10%	28 14.2%	△	
	男性	23 25.8%	19%	28 24.8%	△	
	女性	23 5.8%	4%	28 7.1%	×	
未成年者の喫煙をなくす	高3男	23 1.7%	0%	28 2.0%	×	
	高3女	23 1.9%	0%	28 3.1%	×	
歯及び口腔	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)		23 46.9%	56%以上	28 55.7%	○
	妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加		24 25市町	41市町	28 38市町	○
	3歳児のむし歯のない人の割合の増加		23 82.8%	87%以上	27 85.0%	△
	12歳児での一人平均むし歯数の減少		23 1.18歯	1歯未満	28 0.78歯	◎
8020運動目標達成者割合の増加	40歳28歳以上	23 64.1%	77%以上	28 64.4%	△	
	80歳20歳以上	23 35.2%	42%以上	28 40.2%	○	
こころ	自殺者数の減少(年間)		23 1,303人	1,000人以下	28 942人	◎
	眠れないことが頻繁にある人の割合の減少(中1、中3、高3)		23 6.2%	5%以下	28 4.8%	◎
	ストレスを大いに感じる人の割合の減少		23 22.9%	18%以下	27 26.8%	×
	認知症予防教室を受講する人の増加		-	10千人	28 11千人	◎
危機健康	災害に備え、非常食等を備蓄している世帯の割合の増加		20 41.9%	60%以上	27 61.7%	◎
	災害時保健指導マニュアル策定市町数の増加		24 8市町	41市町	28 [策定済]14市町 [策定中]9市町	○

